

植物の多様性と系統進化に関する教育のため  
～島根大学キャンパスの植物相調査の取り組み

林 蘇娟

For education on plant diversity and phylogeny  
～ Efforts to survey plant flora of the Shimane University campus

Su-Juan Lin

**Abstract:** For the education on plant diversity and phylogeny, we investigated the flora of the Shimane University Matsue campus in Matsue City and recorded about 270 vascular plants (97 families). A checklist of vascular plants has been created based on the new APGIII system. Typical species in the plant phylogenetic evolution, and noteworthy diversified evolutionary groups were explained.

**Keywords :** APGIII, 植物多様性, 植物系統分類, 松江キャンパス, 植物チェックリスト

## はじめに

著者は長年植物学(植物の世界, 植物形態解剖学, 植物の系統分類, 植物の進化多様性学など)の教育に携わってきた。授業中に紹介された植物の実物や生息する生態フィールドを観察したいという学生からの意見は多数あったが, 本学では植物学教育用の植物園や温室などの基礎的な施設が無く, また, 多人数の学生を郊外フィールドに引率・指導することも困難であるため, 学生の要望に十分に応えることができない教育現場の現実がある。一方, 島根大学松江キャンパスは周囲を緑豊かな山山(高山, 和久羅山, 白鹿山, 御嶽山, 真山…)に囲まれ, キャンパス内に多くの植物が自生している。さらに, キャンパス内の環境改善・整備のために, 並木, 樹木, 花壇などの植栽を増やすことにより, 豊かな植物相が形成されてきた。植物多様性の啓発的教育, 植物学・植物の系統進化に関する専門分野の教育と理解を深めるために, 上記大学キャンパスの植物環境を活用することを考え, キャンパス内に生息している植物種類の把握, 植物相の調査に着手した。

本研究は主に最近5年間の松江キャンパス内の植物相の調査で得られた結果および例年生物科学セミナーⅡの授業に参加する学生の学習調査の結果をまとめたものを報告する。

## 島根大学川津キャンパス内の植物相調査

島根大学には松江キャンパス(松江市)と出雲キャンパス(医学部, 出雲市)の2つのキャンパスがある。本研究では松江市の松江キャンパスで植物相の調査を行った。キャンパスの面積は201, 195m<sup>2</sup>(約20Ha), 敷地内は平坦であり, 生物資源科学部の研究用の実験スギ林, 圃場, 温室を保有している。メイン通りや建物の周辺にある樹木は基本的に植栽されたものと思われ, 裸子植物のイチョウ, 松柏類, 被子植物の常緑広葉樹木(タイサンボク, クスノキ), 落葉広葉樹木(ケヤキ, ブナ類, サクラなど), 低木(モチノキ, ツバキ, ツツジ), 外来種(ヒマラヤスギ, ユリノキ)など多様である。草本は主にイネ科, マメ科, シソ科, キク科の種類が自生しているが, そのうち外来種, 栽培から逸脱した栽培品種をも含まれている。また, キャンパス内の工事や, 除草剤の使用などによって, 種類の消長・変化が見受けられた。

調査中に植物の写真撮影と, 必要に応じた標本の採集・同定をした。科名, 種名は牧野(1989), 佐竹他(1985), 大場(2009)などの図鑑や分類表に従った。学生にも利用しやすいように, 植物系統分類の授業内容に合わせて, 植

物のチェックリストの被子植物の配置は、新しいAPGⅢの体系に従った(APG, 2009; 河原, 2014; 伊藤, 2015)。また、著者の個人ホームページに随時、植物の写真を載せ、授業内容の学習、セミナー、自由研究、生物科学実験の参考資料として提供している。

## 調査結果

島根大学松江キャンパスでの維管束植物を調査した結果、キャンパス内に生息（並木、花壇などの栽培種を含む）している植物は97科270種を確認した。内枠はシダ植物7科10種、裸子植物5科11種、被子植物85科249種であった(表1)。植物系統進化学的視点から、キャンパス内に生息している維管束植物はシダ植物、裸子植物、被子植物の基部被子植物群、単子葉植物、基部真正被子植物群、中核真正被子植物群(バラ類、キク類)のすべてのグループを網羅していることが明らかになった(表1)。約20ha余の構内で90科の種子植物(裸子植物5科、被子植物85科)が生息しており、これは島根県全域の155科(杉村, 2005)の58.1%を占めている。構内において豊かな植物種多様性を保持されていることが浮き彫りになった。

特筆すべき植物：

スギナ *Equisetum arvense*：古生代から生き続けてきたトクサ類のシダ植物である。2-3月ごろにツクシ(孢子葉)が生えてきて、3月から夏までスギナ(栄養葉)が群生する。建物の周り、日影の有る空き地、樹木の下など、一面緑の絨毯が敷かれたかのようにスギナが茂り、春のキャンパスの自然景観の一つを担う。これは生物科学実験のためにシダ植物の二型葉、楔葉、孢子嚢穂、孢子嚢、‘動ける孢子’などの形態を観察する良い教材となる。

イチョウ *Ginkgo biloba*：キャンパス内数カ所に大木が点在し、本部建物の東側にイチョウの林が植栽されている。日本の植物研究者平瀬作五郎(1896年)のイチョウの精子発見の画期的研究により、植物進化史上、イチョウはシダ植物と種子植物の中間的な植物であることが証明された。この授業内容の理解を深めるため、5月中旬に雌雄異株のイチョウの雌花と雄花をイチョウ林で観察できる。

ユリノキ *Liriodendron tulipifera*：基部被子植物の一群モクレン科に属する落葉高木である。“生きている化石”といわれる白亜紀からの残存種であり、ユリノキ属は世界で中国原産のシナユリノキ *L. chinense* と北米原産のユリノキの2種のみ生存している。これは原始的な基部被子植物群の代表種として、また、大陸移動によりユーラシア大陸とアメリカ大陸の隔離分布の例として、よく取り上げられ

る種類である(林, 2007)。ユニークな半纏形の葉とオレンジ斑紋の花(5月)が観察のポイントである。

ネジバナ *Spiranthes sinensis*：キャンパス内の唯一ラン科の自生種である。草丈約20-30cm、赤ピンクの小花が(0.5cm)花序軸に螺旋状に着生することが特徴である。約10年前には構内の空き地、圃場の周辺によく見かけられたが、最近数年では極稀に不定な場所に数個体しか見つけられなかった。構内の工事と除草剤の使用が減少の一因と考えられる。

ウマノアシガタ *Ranunculus japonicus*：基部真正双子葉植物、キンボウゲ科の一種である。心皮多数・離生、集散花序の形態は特徴的であり、4月中旬にエスチュアリ研究センターの前と総合理工学部2号館の北側の空き地、樹木の下に花畑のように黄色い花が一面に咲く。

ボタン *Paeonia suffruticosa*：伝統的系統分類体系(エングラウ体系など)では、キンボウゲ科のボタン属に分類されたが、新しいAPGⅢ体系において、ボタン属は中核真正双子葉類のボタン科として独立した。島根県の県花としてよく栽培され、大根島(松江市八束町)のボタン産地は日本国内でも有名である。本学の生物資源科学部青木宣明名誉教授はボタン栽培の専門家で、在職中に生物資源科学部1号館の南側に多数中国の品種、交配の新品種、島根の品種が植えられた。毎年4月中旬から5月にかけて多彩な花が咲く。

ハリエンジュ *Robinia pseudoacacia*：中核真正双子葉類マメ科に属する落葉高木の一種で、北アメリカ原産の外来種である。マメ科の多数は草本、藤本、低木であり、島根県内では樹高が20m以上に達するマメ科の高木の種は珍しい。総状花序で甘い香りのある白い蝶形花が咲く。キャンパス内のマメ科にはもう一つ落葉高木の種、ネムノキがある。図書館近辺の小さな‘雑木林’に見られ、おそらく自生のもと思われる。

表1. 島根大学松江キャンパスの植物チェックリスト：

科名	学名	和名
<b>シダ類</b>		
Equisetaceae トクサ科	<i>Equisetum arvense</i>	スギナ
Schizaeaceae フサシダ科	<i>Lygodium japonicum</i>	カニクサ
Pteridaceae イノモトソウ科	<i>Pteris cretica</i>	オオバノイノモトソウ
Lindsaeaceae ホングウシダ科	<i>Sphenomeris chinensis</i>	ホラシノブ
Dryopteridaceae オシダ科	<i>Dryopteris erythrosora</i>	ベニシダ
	<i>Dryopteris fuscipes</i>	マルバベニシダ
Thelypteridaceae ヒメシダ科	<i>Stegnogramma pozoi ssp. mollissima</i>	ミゾシダ
	<i>Thelypteris acuminata</i>	ホシダ
	<i>Thelypteris palustris</i>	ヒメシダ
Polypodiaceae ウラボシ科	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	ノキシノブ
<b>裸子植物</b>		
Cycadaceae ソテツ科	<i>Cycas revoluta</i>	ソテツ
Ginkgoaceae イチョウ科	<i>Ginkgo biloba</i>	イチョウ
Cupressaceae ヒノキ科	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	ヒノキ
	<i>Chamaecyparis obtusa</i> var. <i>breviramea</i>	チャボヒバ
	<i>Juniperus chinensis</i>	イブキ
	<i>Metasequoia glyptostroboides</i>	メタセコイア
Pinaceae マツ科	<i>Abies firma</i>	モミ
	<i>Cedrus deodara</i>	ヒマラヤ杉
	<i>Pinus densiflora</i>	アカマツ
	<i>Pinus thunbergii</i>	クロマツ
Podocarpaceae マキ科	<i>Podocarpus macrophyllus</i> var. <i>maki</i>	ラカンマキ
<b>被子植物—基部被子植物群 Basal Group</b>		
Saururaceae ドクダミ科	<i>Houttuynia cordata</i>	ドクダミ
Magnoliaceae モクレン科	<i>Liriodendron tulipifera</i>	ユリノキ
	<i>Magnolia grandiflora</i>	タイサンボク
Lauraceae クスノキ科	<i>Cinnamomum camphora</i>	クスノキ
	<i>Cinnamomum</i> sp.	
<b>被子植物—単子葉植物 Monocots</b>		
Dioscoreaceae ヤマノイモ科	<i>Dioscorea polystachya</i>	ナガイモ
	<i>Dioscorea tokoro</i>	オニトコロ
Alstroemeriaceae ユリズイセン科	<i>Alstroemeria psittacina</i>	ユリズイセン
Liliaceae ユリ科	<i>Lilium longiflorum</i>	テッポウユリ
	<i>Smilax china</i>	サルトリイバラ
	<i>Tricyrtis hirta</i>	ホトトギス
Orchidaceae ラン科	<i>Bletilla striata</i>	シラン
	<i>Spiranthes sinensis</i>	ネジバナ
Iridaceae アヤメ科	<i>Iris japonica</i>	シャガ
	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	ニワセキショウ
	<i>Sisyrinchium graminoides</i>	オオニワセキショウ
	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>	ヒメトウショウブ
Amaryllidaceae ヒガンバナ科	<i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>	スイセン

Alliaceae ネギ科	<i>Allium grayi</i>	ノビル
Asparagaceae アスパラガス科 (キジカクシ科)	<i>Asparagus</i> spp.	アスパラガス
	<i>Yucca smalliana</i>	イトラン
Cyperaceae カヤツリグサ科	<i>Cyperus</i> sp.	
Poaceae イネ科	<i>Alopecurus aequalis</i>	スズメノテッポウ
	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	ハルガヤ
	<i>Beckmannia syzigachne</i>	カズノコグサ
	<i>Briza maxima</i>	コバンソウ
	<i>Briza minor</i>	ヒメコバンソウ
	<i>Bromus catharticus</i>	イヌムギ
	<i>Dactylis glomerata</i>	カモガヤ
	<i>Digitaria ciliaris</i>	メヒシバ
	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>oryzicola</i>	タイヌビエ
	<i>Eleusine indica</i>	オヒシバ
	<i>Eragrostis ferruginea</i>	カゼクサ
	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	チガヤ
	<i>Miscanthus floridulus</i>	トキワススキ
	<i>Miscanthus sinensis</i>	ススキ
	<i>Panicum bisulcatum</i>	ヌカキビ
	<i>Paspalum thunbergii</i>	スズメノヒエ
	<i>Pennisetum alopecuroides</i>	チカラシバ
	<i>Phragmites australis</i>	ヨシ
	<i>Phyllostachys bambosoides</i>	マダケ
	<i>Sacciolepis indica</i> var. <i>oryzetonum</i>	ヌメリグサ
	<i>Sasaella ramosa</i>	アズマザサ
	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>	エノコログサ
Commelinaceae ツククサ科	<i>Commelina communis</i>	ツククサ
<b>被子植物—真正双子葉植物 Eudicots</b>		
<b>基部真正双子葉植物 Basal Eudicots</b>		
Berberidaceae メギ科	<i>Nandina domestica</i>	ナンテン
Lardizabalaceae アケビ科	<i>Akebia quinata</i>	アケビ
Papaveraceae ケシ科	<i>Eschscholzia californica</i>	ハナビシソウ
	<i>Papaver dubium</i>	ナガミヒナゲシ
Ranunculaceae キンボウケ科	<i>Nigella glandulifera</i>	クロカネソウ
	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	ケキツネノボタン
	<i>Ranunculus japonicus</i>	ウマノアシガタ
	<i>Ranunculus muricatus</i>	トゲミノキツネノボタン
	<i>Ranunculus quelpaertensis</i>	キツネノボタン
Buxaceae ツゲ科	<i>Buxus microphylla</i>	ツゲ
<b>中核真正双子葉類 Core Eudicots</b>		
Crassulaceae ベンケイソウ科	<i>Sedum mexicanum</i>	メキシコキンソウ
Hamamelidaceae マンサク科	<i>Hamamelis japonica</i>	マンサク
Paeoniaceae ボタン科	<i>Paeonia suffruticosa</i>	ボタン
	<i>Paeonia lactiflora</i>	シャクヤク
Saxifragaceae ユキノシタ科	<i>Mitella furusei</i> var. <i>subramosa</i>	チャルメルソウ

	<i>Saxifraga stolonifera</i>	ユキノシタ
Amaranthaceae ヒユ科	<i>Alternanthera sessilis</i>	ツルノゲイトウ
	<i>Amaranthus lividus</i>	イヌビユ
	<i>Chenopodium album</i>	シロザ
	<i>Chenopodium quinoa</i>	キヌア
Caryophyllaceae ナデシコ科	<i>Arenaria serpyllifolia</i>	ノミノツヅリ
	<i>Cerastium glomeratum</i>	オオミミナグサ
	<i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>hallaisanense</i>	ミミナグサ
	<i>Cerastium glomeratum</i>	オオミミナグサ
	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	カワラナデシコ
	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>	ノミノフスマ
	<i>Stellaria aquatica</i>	ウシハコベ
	<i>Stellaria fenzlii</i>	シラオイハコベ
	<i>Silene gallica</i> var. <i>gallica</i>	シロバナマンテマ
Nyctaginaceae オシロイバナ科	<i>Mirabilis jalapa</i>	オシロイバナ
Molluginaceae ザクロソウ科	<i>Phytolacca americana</i>	ヨウシュウヤマゴボウ
Polygonaceae タデ科	<i>Polygonum caespitosum</i> var. <i>laxiflorum</i>	ハナタデ
	<i>Polygonum capitatum</i>	ヒメツルソバ
	<i>Polygonum chinense</i>	ツルソバ
	<i>Polygonum cuspidatum</i>	イタドリ
	<i>Polygonum filiforme</i>	ミズヒキ
	<i>Polygonum lapathifolium</i>	オオイヌタデ
	<i>Polygonum longisetum</i>	イヌタデ
	<i>Rumex acetosa</i>	スイバ
	<i>Rumex acetosella</i>	ヒメスイバ
	<i>Rumex crispus</i>	ナガバギシギシ
	<i>Rumex japonicus</i>	ギシギシ
<b>バラ類 Rosids</b>		
Vitaceae ブドウ科	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	ノブドウ
	<i>Cayratia japonica</i>	ヤブガラシ
	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	ツタ
Celastraceae ニシキギ科	<i>Euonymus alatus</i>	ニシキギ
	<i>Euonymus japonicus</i>	マサキ
Oxalidaceae カタバミ科	<i>Oxalis corniculata</i>	カタバミ
	<i>Oxalis corymbosa</i>	ムラサキカタバミ
Euphorbiaceae トウダイグサ科	<i>Mallotus japonicus</i>	アカメガシワ
	<i>Triadica sebifera</i>	ナンキンハセ
Hypericaceae オトギリソウ科	<i>Hypericum monogyum</i>	ビヨウヤナギ
	<i>Hypericum patulum</i>	キンシバイ
	<i>Hypericum sp.</i>	ヒペリカム
Salicaceae ヤナギ科	<i>Populus nigra</i>	セイヨウハコヤナギ
Violaceae スミレ科	<i>Viola grypoceras</i>	タチツボスミレ
	<i>Viola mandshurica</i>	スミレ
Betulaceae カバノキ科	<i>Carpinus sp.</i>	イヌシデ

Fagaceae ブナ科	<i>Castanopsis cuspidata</i>	ツブラジイ
	<i>Quercus acuta</i>	アカカシ
	<i>Quercus glauca</i>	アラカシ
	<i>Quercus myrsinifolia</i>	シラカシ
	<i>Quercus salicina</i>	ウラジロカシ
	<i>Quercus serrate</i>	コナラ
Juglandaceae クルミ科	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	オニグルミ
	<i>Platycarya strobilacea</i>	ノクルミ
Myricaceae ヤマモモ科	<i>Myrica rubra</i>	ヤマモモ
Fabaceae マメ科	<i>Albizia julibrissin</i>	ネムノキ
	<i>Astragalus sinicus</i>	ゲンゲ
	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>	コマツナギ
	<i>Lotus corniculatus</i> var. <i>japonicus</i>	ミヤコグサ
	<i>Medicago lupulina</i>	コマツブウマコヤシ
	<i>Melilotus suaveolens</i>	シナガワハギ
	<i>Pueraria lobata</i>	クズ
	<i>Rhynchosia acuminatifolia</i>	トキリマメ
	<i>Rhynchosia volubilis</i>	タンキリマメ
	<i>Robinia pseudoacacia</i>	ハリエンジュ
	<i>Trifolium dubium</i>	コツブツメクサ
	<i>Trifolium incarnatum</i>	ベニバナツメクサ
	<i>Trifolium pratense</i>	ムラサキツメクサ
	<i>Trifolium repens</i>	シロツメクサ
	<i>Vicia angustifolia</i> var. <i>segetalis</i>	カラスノエンドウ
	<i>Vicia cracca</i>	クサフジ
	<i>Vicia hirsuta</i>	スズメノエンドウ
	<i>Vicia villosa</i> ssp. <i>varia</i>	ナヨクサフジ
Elaeagnaceae グミ科	<i>Elaeagnus umbellata</i>	アキグミ
	<i>Elaeagnus sp.</i>	
Moraceae クワ科	<i>Ficus erecta</i>	イヌビワ
	<i>Morus sp.</i>	クワ
Rhamnaceae クロウメモドキ科	<i>Ziziphus jujuba</i>	ナツメ
Rosaceae バラ科	<i>Duchesnea chrysantha</i>	ヘビイチゴ
	<i>Duchesnea indica</i>	ヤブヘビイチゴ
	<i>Kerria japonica</i>	ヤマブキ
	<i>Photinia glabra</i>	カナメモチ
	<i>Prunus avium</i>	サクランボ
	<i>Prunus lannesiana</i>	ヤエサクラ
	<i>Prunus × yedoensis</i> ( <i>Cerasus × yedoensis</i> )	サクラ (ソメイヨシノ)
	<i>Prunus pauiflora</i>	シナミザクラ
	<i>Pyracantha angustifolia</i>	タチバナモドキ
	<i>Rosa chinensis</i>	バラ
	<i>Rosa paniculigera</i>	ミヤコイバラ
	<i>Rosa rugosa</i>	ハマナシ
	<i>Spiraea thunbergii</i>	ユキヤナギ

Ulmaceae ニレ科	<i>Ulmus sp.</i>	ニレ
	<i>Zelkova serrata</i>	ケヤキ
Geraniaceae フウロソウ科	<i>Geranium thunbergii</i>	ゲンノショウコ
Lythraceae ミソハギ科	<i>Punica granatum</i>	ザクロ
Onagraceae アカバナ科	<i>Oenothera speciosa</i>	ヒルザキツクミソウ
	<i>Oenothera stricta</i>	マツヨイゲサ
Stachyuraceae キブシ科	<i>Stachyurus praecox</i>	キブシ
Malvaceae アオイ科	<i>Hibiscus mutabilis</i>	フヨウ
Thymelaeaceae ジンチョウゲ科	<i>Daphne odora</i>	ジンチョウゲ
Brassicaceae アブラナ科	<i>Aurinia saxatilis</i>	イワナズナ
	<i>Brassica napus</i>	アブラナ
	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	ナズナ
	<i>Rorippa dubia</i>	ミチバタガラシ
Anacardiaceae ウルシ科	<i>Rhus javanica</i>	ヌルデ
Meliaceae センダン科	<i>Melia azedarach</i>	センダン
Rutaceae ミカン科	<i>Citrus natsutaoidai</i>	ナツミカン
	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	サンショウ
Sapindaceae ムクロジ科	<i>Aesculus hippocastanum</i>	セイヨウトチノキ
	<i>Cardiospermum halicacabum</i>	フウセンカズラ
Aceraceae カエデ科	<i>Acer buergerianum</i>	トウカエデ
	<i>Acer palmatum</i>	イロハモミジ
<b>キク類 Asterids</b>		
Comaceae ミズキ科	<i>Comus florida</i>	ハナミズキ
Hydrangeaceae アジサイ科	<i>Hydrangea sp.</i>	アジサイ
Balsaminaceae ツリフネソウ科	<i>Impatiens balsamina</i>	ホウセンカ
Ebenaceae カキノキ科	<i>Diospyros kaki</i>	カキノキ
Ericaceae ツツジ科	<i>Enkianthus perulatus</i>	ドウダンツツジ
	<i>Pieris japonica</i>	アセビ
	<i>Rhododendron indicum</i>	サツキツツジ
	<i>Rhododendron kaempferi</i>	ヤマツツジ
	<i>Vaccinium corymbosum</i>	ブルーベリー
Pentaphragaceae サカキ科	<i>Cleyera japonica</i>	サカキ
Primulaceae サクラソウ科	<i>Lysimachia japonica</i>	コナスビ
	<i>Primula sieboldi</i>	サクラソウ
Styracaceae エゴノキ科	<i>Styrax japonica</i>	エゴノキ
	<i>Styrax obassia</i>	ハクウンボク
Theaceae ツバキ科	<i>Camellia japonica</i>	ヤブツバキ
	<i>Camellia spp.</i>	ツバキ
	<i>Camellia sasanqua</i>	サザンカ
Boraginaceae ムラサキ科	<i>Myosotis scorpioides</i>	ワスレナグサ
	<i>Trigonotis peduncularis</i>	キュウリグサ
Garryaceae アオキ科	<i>Aucuba japonica</i>	アオキ
Apocynaceae キョウチクトウ科	<i>Asclepias curassavica</i>	トウワタ
	<i>Nerium oleander var. indicum</i>	キョウチクトウ
	<i>Vinca major</i>	ツルニチニチソウ
Gentianaceae リンドウ科	<i>Gentiana sp.</i>	
Rubiaceae アカネ科	<i>Diodia virginiana</i>	メリケンムグラ

	<i>Galium spurium var. echinospermon</i>	ヤエムグラ
	<i>Paederia scandens</i>	ヘクソカズラ (ヤイトバナ)
Acanthaceae キツネノマゴ科	<i>Justicia procumbens</i>	キツネノマゴ
Lamiaceae シソ科	<i>Clinopodium gracile</i>	トウバナ
	<i>Glechoma hederacea var. grandis</i>	カキドオシ
	<i>Lamium amplexicaule</i>	ホトケノザ
	<i>Lamium purpureum</i>	ヒメオドリコソウ
	<i>Prunella vulgaris subsp. asiatica</i>	ウツボグサ
Oleaceae モクセイ科	<i>Ligustrum obtusifolium</i>	イボタノキ
	<i>Osmanthus fragrans var. aurantiacus</i>	キンモクセイ
	<i>Osmanthus heterophyllus</i>	ヒイラギ
Plantaginaceae オオバコ科	<i>Plantago asiatica</i>	オオバコ
Scrophulariaceae ゴマノハグサ科	<i>Veronica persica</i>	オオイヌノフグリ
	<i>Linaria canadensis</i>	マツバウンラン
	<i>Pseudolysimachiona ornata</i>	トウテイラン
Verbenaceae クマツヅラ科	<i>Lantana camara</i>	ランタナ
	<i>Phyla nodiflora</i>	イワダレソウ
Convolvulaceae ヒルガオ科	<i>Calystegia japonica</i>	ヒルガオ
	<i>Physalis alkekengi var. franchetii</i>	ホオズキ
Solanaceae ナス科		
Aquifoliaceae モチノキ科	<i>Ilex crenata</i>	イヌツゲ
	<i>Ilex integra</i>	モチノキ
	<i>Ilex rotunda</i>	クロガネモチ
Asteraceae キク科	<i>Achillea millefolium</i>	セイヨウノコギリソウ
	<i>Artemisia princeps</i>	ヨモギ
	<i>Cirsium japonicum</i>	ノアザミ
	<i>Dusty miller</i>	シロタエギク
	<i>Erigeron annuus</i>	ヒメジョオン
	<i>Erigeron canadensis</i>	ヒメムカシヨモギ
	<i>Erigeron philadelphicus</i>	ハルジョオン
	<i>Farfugium japonicum</i>	ツワブキ
	<i>Gnaphalium affine</i>	ハハコグサ
	<i>Gnaphalium japonicum</i>	チチコグサ
	<i>Hypochaeris radicata</i>	ブタナ
	<i>Ixeris dentata</i>	ニガナ
	<i>Ixeris dentata var. albiflora f. amplifolia</i>	ハナニガナ
	<i>Ixeris stolonifera</i>	イワニガナ
	<i>Leucanthemum vulgare</i>	フランスギク
	<i>Petasites japonicus</i>	フキ
	<i>Picris hieracioides</i>	コウゾリナ
	<i>Rhodiola rosea</i>	ハハコヨモギ
	<i>Senecio vulgaris</i>	ノボロギク
	<i>Solidago altissima</i>	セイトカアワダチソウ
	<i>Sonchus oleraceus</i>	ノゲシ

	<i>Taraxacum albidum</i>	シロバナタンポポ
	<i>Taraxacum officinale</i>	セイヨウタンポポ
	<i>Youngia japonica</i>	オニタビラコ
Caprifoliaceae スイカズラ科	<i>Abelia serrata</i>	コックバネウツギ
	<i>Abelia spathulata</i>	ツクバネウツギ
	<i>Lonicera japonica</i>	スイカズラ
Apiaceae セリ科	<i>Anthriscus sylvestris</i>	シャク
	<i>Osmorhiza aristata</i>	ヤブニンジン
	<i>Torilis japonica</i>	ヤブジラミ
Araliaceae ウコギ科	<i>Fatsia japonica</i>	ヤツデ
	<i>Hedera rhombea</i>	キツタ
Pittosporaceae トベラ科	<i>Pittosporum tobira</i>	トベラ

## まとめ

上述の結果によって、植物学、植物系統分類学の教育のため、キャンパス内の植物の活用が十分可能であることが明らかになった。

キャンパス内には、イネ科、マメ科とキク科の種類が多い。珍しいものはあまりないが、外来種が目立つよう(増えたよう)になっている。例えばイネ科のコバンソウ、キク科のセイタカアワダチソウなどがある。セイタカアワダチソウは、環境省に侵略的外来種、ワースト100に指定された。空地に侵入されたら他の植物種が排除される(三浦, 林, 2018)。また、スイセンやナガミヒナゲシ、トウワタ、トウテイランなど花壇または研究用の栽培から逸脱したものもしばしば見つけられた。環境庁にリストされた侵略的外来種の多数は本来飼料や観賞用に導入されたものであり、人為的管理から離脱すると環境を攪乱する危険種になってしまう。今後、栽培管理に注意を喚起する必要があると思われる。

教育活動に合わせた調査において、季節の変動と開花期の把握ズレによる採集記録の漏れや、研究用の実験栽培地、実験林、動物飼育場などの立ち入りできない場所の存在など、調査不十分の可能性を考慮すれば、松江キャンパス内の維管束植物は270種以上があると考えられる。イネ科、キク科などの種や、変種まで同定困難なものペンディングや、同定誤りもあるかと思うが、基礎資料として、皆様のご意見とご指摘を頂くことが叶えば、今後の追加と改正を期待できるものと思われる。

## 謝 辞

生物資源科学部の教職員の方々に大変お世話になりました。生命科学科の学生諸君にはキャンパス内の植物調査

に参加と協力をしていただいた。ここに記して感謝する。

## 引用文献

- Angiosperm Phylogeny Group (2009). An update of the Angiosperm Phylogeny Group classification for the orders and families of flowering plants: APG III. *Botanical Journal of the Linnean Society*, 161: 105–121
- 伊藤元己(2015). 新・生命科学シリーズ, 植物の系統と進化. 裳華房, 東京
- 大場秀章(2009). 植物分類表. アボック社, 鎌倉
- 河原 孝行(2014). APG に基づく植物の新しい分類体系. 森林遺伝育種, 3:15–22
- 木場英久, 茨木靖, 勝山輝男(2011). イネ科ハンドブック. 文一総合出版, 東京
- 佐竹義輔, 大井次三郎, 北村四郎, 亘理俊二, 富成忠夫(1985). 日本の野生植物. 平凡社, 東京
- 杵村喜則(2005). 島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3:1–49
- 牧野富太郎(1989). 牧野新日本植物図鑑. 北隆館, 東京
- 三浦壮太, 林蘇娟(2018). 島根県隠岐諸島における侵略的外来植物セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* L. の侵入状況と拡散機構の調査. 島根大学生物資源科学部研究報告, 23:3–7
- 林蘇娟, 林愛明(2007). 生きた化石植物「百合の木」と大陸移動. 静岡大学地球科学研究報告, 34:1–6